

平成24年度

事業報告書

社会福祉法人 花園会

平成24年度 社会福祉法人 花園会 事業報告書

社会福祉法人 花園会は今年度設立30周年を迎えた。

『旅路を共に』の理念の下、障害者・高齢者の尊厳を大切にし、自立した生活を維持、創造するために障害者支援施設「百花園」と特別養護老人ホーム「レジデンス花」を運営する。

この事業運営を通して地域社会に貢献し、社会的価値を還元するべく努力する。

花園会は常に社会の公益性の体现者として、普く人が健全に生活できるようにその活動を行うものである。

【平成24年度事業目標における成果】

① 法人機能の強化

現在花園会の職員数も300名に近づきつつある（百花園：約140名、レジデンス花：約130名）。労務就業管理等様々な場面で様々な対処を行っているが、職員数が増加することにより今までになかった事例も発生し、規程で判断しにくい場合もあるが、24年度も規定の整備、修正を行ったため比較的スムーズに法人業務を行うことができた。今後も法人業務が適切に行えるように、また適切な施設運営を行う為にも法人機能の強化については引き続き進めていきたい。

平成21年度より法人役員、施設長、副施設長、事務局職員等を交えて法人運営に関する会議を定期的で開催しているが、平成24年度も継続して会議を行った。これにより現状の把握から課題発見、対策立案と今後の方針を出席者全員で共有することができた。この他、自己評価制度の運用とそれによる賞与等への反映などの一連の業務もあったが、定期的に話し合いをする場が設定されていた為、比較的順調に進めることができた。

② 人材確保と育成

介護職員の確保については平成25年4月1日採用の新規学卒者を5名採用した。内、介護福祉士が1名、社会福祉主事が1名であった。昨年（予定4名、採用5名）に比べると採用予定人数を8名として採用活動を行ってきたが、目標の8名を採用することができなかった。

施設見学会や一次選考会の参加人数が少なかった上に、内定辞退も重なったことが要因であると考えている。今後は学生の志望意思の見極めと内定者への入社動機を高める取り組みを行っていく必要を感じている。

人材確保の一環として、実習や学校訪問等の機会に福祉系の大学や専門学校の先生方とのパイプ作りを行った。また、大学・専門学校における介護実習やインターンシップ等の教育的活動の受入れも行うことができた。

また職員の育成において、百花園、レジデンス花の合同会議である安全衛生委員会を活用し、働く人の健康と安全を確保することを目的に両施設が協調して職場環境の安全について様々な話し合いを行ない、施設の運営に反映させた。

また、今年度は花園会設立30周年であるので、その記念事業として海外も含む職員旅行を企画し、実行した。

③ 託児所、地域包括支援センターの更なる活用

平成18年度開設の上記2事業について、託児所は年間を通じて6名から13名の利用があった。年度後半から利用人数が増え、今後の利用予定を踏まえると手狭になってきており、平成25年度に改修が計画されている。在籍している女性職員に対しては子供が出来ても働き続けることができる安心感を与えているが、介護人材の確保には繋がっていない。

地域包括支援センターについては、静岡市の設置基準の改正により主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師の3職種を置くこととなり、7月から3人体制で業務を行った。

両河内地域は地域住民の互助意識が強く残っており見守り体制など恵まれている点はあるが、その中においても問題事例や困難事例についての相談が寄せられてきており、静岡市の担当職員の指導の下、地区社協や民生委員会など地域に根差している各種団体と連携をとり活動を行ってきた。その為、包括支援センターの存在感は増してきているものと感じている。今後は地域柄を踏まえつつも適切な対応で支援していくことが課題であるので、継続して地域で行われる会合への出席やミニデイへの参加などに加え、各戸に訪問し潜在的なニーズを探り出し関係者に働き掛けていくなど、地域に向けて積極的に行動し、人と人とのつながりを大切にしたい地道な取り組みを続けていきたい。

④ 広報活動

花園会開設30周年に合わせて記念誌を作成し、各事業所に配布した。また、採用活動においても花園会を紹介する資料として活用された。インターネットのSNSサービスの一つであるfacebookに紹介ページを開設し、情報の発信を行った。また、花園会ホームページにリンクを張ることで常に新しい情報を提供できた。また、学生就職支援サイト「リクナビ2013」に参加し、合同企業説明会への参加や施設見学会の開催などの採用活動を通じて花園会をアピールした。

⑤ 法人の行動計画（アクションプラン）の策定

法人機能の強化と共に行動計画（アクションプラン）を策定した。今後もミーティングなどを通じてより実効的な計画となるように修正を加え、職員に周知していきたい。

⑥ 地域貢献

地域住民の方々が求めていることなどを地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、その他関わりのある人を通じて得ることができた。緊急の対応が必要な場合にも住民と職員が連携し対応することができた。

また、パンシヨップフラワーは職員だけでなく地域の方も来店しており、移動販売を楽しみにしている方もいらっしゃる。

【平成24年度役員会開催】

花園会理事会ならびに評議員会を以下のとおりに開催し、花園会の運営に係る議事について

ご意見、ご指導をいただき、検討・審議をしていただきました。

理事会ならびに評議員会の開催

- 平成24年5月21日
- ・平成23年度花園会、百花園およびレジデンス花事業報告（案）
 - ・平成23年度花園会、百花園およびレジデンス花決算報告（案）
- 平成24年10月2日
- ・平成24年度第1次補正予算（案）について
 - ・定款の一部変更（案）について
 - ・給与規程の一部変更（案）について
 - ・監事監査規程（案）の制定について
- 平成25年1月9日
- ・就業規程の改正及び継続雇用規程の制定について
- 平成25年3月13日
- ・評議員の任期満了に伴う新評議員の同意について
 - ・職務代理者の指名について
 - ・平成24年度第2次補正予算（案）について
 - ・諸規程の改正について
 - ・平成25年度花園会、百花園およびレジデンス花事業計画（案）
 - ・平成25年度花園会、百花園およびレジデンス花当初予算（案）
 - ・定款の変更について

【平成24年度 監事による監査の実施】

平成24年5月15日と11月16日の2回監事による監査が実施されました。

【地域との交流事業】

地域の社会資源として、地域住民として、様々な活動を行ないました。

- ・ 夏祭り（レジデンス花）
- ・ 秋祭り（百花園）
- ・ 芋煮会（レジデンス花）

2013新卒採用活動報告 2011年12月1日～2013年3月31日

1. 合同企業説明会

開催番号	開催日	開催会場	主催	参加人数
1回目	12月24日 (土)	ツインメッセ静岡	リクルート	35名
2回目	2月3日 (金)	花園大学	花園大学	4名
3回目	3月6日 (火)	ツインメッセ静岡	リクルート	16名
4回目	6月9日 (土)	ツインメッセ静岡	リクルート	11名
5回目	7月16日 (月祝)	グランシップ	県社協	3名
6回目	2月19日 (火)	グランシップ	ハローワーク	6名
7回目				
参加者合計				75名

2. 施設見学会

開催番号	開催日	参加人数	備考
1回目	1月16日 (月)	5名	
2回目	3月16日 (金)	4名	
3回目	3月21日 (水)	2名	
4回目	3月26日 (月)	1名	
5回目	4月3日 (火)	2名	
6回目	4月9日 (月)	1名	
7回目	4月17日 (火)	3名	
8回目	6月1日 (金)	1名	
9回目	6月6日 (水)	1名	
10回目	6月15日 (金)	2名	
11回目	6月22日 (金)	2名	
12回目	6月28日 (木)	1名	
13回目	8月3日 (金)	1名	
14回目	10月5日 (金)	1名	
15回目	11月22日 (木)	1名	
参加者合計		28名	

3. 一次選考会

開催番号	開催日	参加人数
1回目	5月15日 (火)	1名
2回目	5月16日 (水)	1名
3回目	5月24日 (木)	2名
4回目	5月28日 (月)	2名
5回目	5月29日 (火)	1名
6回目	7月3日 (火)	1名
7回目	7月10日 (火)	1名
8回目	10月5日 (金)	1名
9回目	11月22日 (木)	1名
参加者合計		11名

一次選考会参加率 39%
 (選考会参加者数÷見学会参加者数)
 一次選考合格率 82%
 (一次選考合格者数÷一次選考参加者数)
 二次選考合格率 100%
 (二次選考合格者数÷二次選考参加者数)
 内定辞退率 44%
 (内定辞退者÷内定者)

4. 最終面接

開催番号	開催日	参加人数
1回目	6月13日 (水)	2名
2回目	6月14日 (木)	2名
3回目	6月18日 (月)	1名
4回目	7月12日 (木)	1名
5回目	7月25日 (水)	1名
6回目	10月16日 (火)	1名
7回目	11月29日 (木)	1名
参加者合計		9名
内定者合計		9名
内定辞退者		4名
採用者数		5名

5. その他の活動

開催番号	開催日	イベント名	参加人数
1回目	8月19日 (日)	レジデンス花 夏祭り (運営ボランティア)	1名
2回目	12月6日 (木)	内定者レポート発表会「おもてなしの心」	4名
3回目	3月5日 (火)	静岡県中部地区福祉職合同入職式	1名
4回目	3月25日 (月)	内定者オリエンテーション	4名
5回目	3月29日 (金)	内定者オリエンテーション	1名

平成24年度 社会福祉法人 花園会
 障害者支援施設 百花園 事業報告書

(重点実施事項)

- 1、経営基盤の確立
- 2、利用者へのサービス向上
- 3、人材の確保・育成
- 4、危機管理体制の充実
- 5、施設整備事業

1、経営基盤の確立

① 事業内容

(日中)	生活介護	142名
	就労継続B型	10名
	短期入所	6名 (空床利用あり)
(夜間)	施設入所	132名

日中一時支援(静岡市委託事業)

② 稼働実績

区分	目標	実績	(人)
入所(生活介護)	137	137.0	
通所(生活介護)	21	21.6	
短期入所	6	6.8	
就労継続B型	7	6.7	
日中一時	3	2.2	

収入実績

年度	実績	要因	(千円)
22	791,578	稼働率↑	
23	809,300	稼働率↑	
24	848,300	稼働率↑	

程度区分

年度	平均程度区分	区分6	区分5+6
22	5.6	73.5%	91.9%
23	5.6	72.6%	91.2%
24	5.6	69.1%	90.9%

2、利用者へのサービス向上

- ① ケアプラン
サービス管理責任者を中心にケアプラン会議を毎月実施した。
- ② 苦情解決・相談支援
苦情相談件数13件
平成24年10月23日に第三者委員への苦情解決内容説明会実施した。

3、人材確保・育成

- ① 人材
非常勤職員、委託、派遣職員を問わず、より良い人材について積極的に雇用した。
- ② 人材確保対策
事業所内託児所の活用を促進し、仕事と家庭生活の両立を援助、結婚、出産後も安心して働くことのできる環境づくりに努めた。
- ③ 管理職の育成
次期を担う人材育成の前段として育成役である管理職のスキルアップに努めた。それぞれの職務内容、職務権限を明確にし、また方向性の統一を図るべく管理職ミーティングを実施した。
- ④ 資格取得
専門性の向上を目指し、資格取得費用の助成を行い、介護福祉士に4名合格した。

4、危機管理体制の充実

- ① 事故防止対策の徹底
リスクマネジメント手法により危険予知に努め、ヒヤリハット事例の収集等職員の危険予知意識の向上を図り、重大事故防止に繋げた。
- ② 防災対策
各職場ごとに防災委員を選出し「防災委員会」を実施。定期的に行う防災訓練の周知徹底を図った。今後は地域と協力して地域における防災拠点化を図る。
また、年度末に静岡市との間に福祉避難所として協定を結んだ。
- ③ 感染予防
食中毒、ノロウイルス、インフルエンザ等施設内の感染予防に向け、「感染防止委員会」を実施した。感染症マニュアルにそった対応を徹底し、単発の発症に抑えられた。

5、施設整備事業

- ① 改修工事
 - ・ デイサービス棟増設(フリールーム、休憩室)
 - ・ 栄養管理室改修
 - ・ 医務室改修
 - ・ 新館エレベーター取り替え改修
- ② 設備・備品
 - ・ 送迎用車両(通所サービス)
 - ・ 天井走行リフト取り付け(4機)
 - ・ 昇降式介護浴槽

特別養護老人ホーム レジデンス花 事業報告書

(重点実施事項)

- 1、経営基盤の確立
- 2、利用者へのサービス向上
- 3、人材確保と育成
- 4、危機管理体制の充実
- 5、地域社会への貢献

1、経営基盤の確立

① 稼動実績 (収入)

介護老人福祉施設	(目標)	98人/日	(実績)	98.9人/日
			(平成23年度実績)	98.0人/日
短期入所生活介護	(目標)	18人/日	(実績)	17.6人/日
			(平成23年度実績)	17.7人/日
通所介護	(目標)	22人/日	(実績)	24.4人/日
			(平成23年度実績)	21.9人/日
居宅介護支援	(目標)	130人	(実績)	166.7人
			(平成23年度実績)	129.3人
内訳 (レジデンス)	(目標)	70人/ケアマネージャー2名(10月より3名)		
(南岡事業所)	(目標)	60人/ケアマネージャー2名		
地域包括支援センター	(委託事業)			

特養はショートステイや他事業所との連携を取ることで、退所から入居の期間をなるべく短くすることができた。入院期間の短縮についても平成24年2月までは1日平均98人を達成していたが、3月に入院者が重なってしまい、月間実績は96.1%となった。しかし、年間では目標値を達成することができた。入院による減収を避ける取組みが少しではあるが実を結んできていると思われる。

ショートステイは今年度も目標値を達成することが出来なかった。利用予約を2ヶ月前から受け付け、部屋割りをを行う流れであるが、利用までの間に利用者本人の体調不良や特養等への入所、または他界などによりショートステイ利用のキャンセルが発生した時に、その穴埋めが思うように出来ないことが原因である。これを改善するために、利用者の在宅における健康維持にも配慮し体調不良によるキャンセルを予防していきたい。また今後更に居宅介護支援事業所との連携を強め、ショートステイ利用の呼びかけができるようにしていきたい。

デイサービスは利用人数を30名から35名に増やしたことにより、利用者数が増え、実

績を押し上げた。定員に対する稼働率は69%であり、これを昨年の稼働率70%と比較しても微減であるから、デイサービスは定員の70%前後で稼働するものと思われる。今後はこの稼働率を少しでも上げる工夫を行いたい。

居宅介護支援センターは2か所で4名のケアマネージャーでスタートしたが、10月よりパートタイムのケアマネージャーが1名増えた。平成25年3月の実績を平均すると、ケアマネージャー1人当たり利用者約35名の実績になる。

② コスト削減（支出）

オムツ使用量削減の取り組み

（複数社の製品を使用することで価格競争を促す、利用者個々の排泄ケアの徹底による無駄遣いの低減、トイレ誘導の取り組み、棟毎の発注）

時間外勤務管理の徹底

（時間外勤務命令簿を活用し、上司が所属職員の時間外勤務を命令・管理することを徹底して行い、時間外勤務を削減した。）

2、利用者へのサービス向上

① ケアプラン

100名の利用者に対して5名のケアマネージャー（兼務含む）がケアプランに関わる体制にし、利用者の実情に添ったプラン作りを他職種が協働して行った。

② 栄養ケアマネジメント

栄養士を中心に栄養ケアプランを立案した。

喫食や嚥下に問題のある方に対して嚥下カンファレンスを開催した。

③ 口腔ケア

歯科衛生士による口腔状態の確認と食後の口腔ケアの指導を行った。

口腔ケアマネジメントを行った。

④ 苦情解決、相談事業の充実

18件/年の苦情相談（特養：2件、ショートステイ：12件、デイサービス4件）を受付け、平成24年10月23日に実施された「第三者委員への苦情解決内容説明会」において報告した。

⑤ ケア向上の取組み（体を温める、水分を摂る）

利用者さんの健康を維持する為に、日々の日常生活の中で体を温めることと、こまめに水分を提供することを行った。施設全体が同じ取組みを行うことで職員のケアに対する意識をそろえることができた。

⑥ 東館エレベーターのテンキー錠解除の取組み

事故防止委員会が推進役として取組みを進めていた東館エレベーターのテンキー錠解除の取組みは、どのような体制で解除をしていくのか、解除することにより起こり得る問題についての対策などについての話し合いを行うに止まった。この取組みは平成25年度に持ち越しになります。

3、人材確保と育成

① 人材育成

4月入社の新入社員を教育し定着を図る為にエルダー制度による教育を実施した。また、自己評価制度を通じてリーダーとメンバーが個別評価面談で率直な話し合いをし、お互いの理解を深めることができた。また、各棟が介護研究を行い、事例発表会を行った。この内から優秀な発表1点を静岡県高齢者福祉研究大会にて発表した。

② 人材確保対策

ふたつのユニットをひとつの棟としてグループにしているが、昨年度10人の常勤職員を配置していたが、1人減らして平成22年度以前のように9人体制とした。これにより介護職員の人数が減り、人件費を抑制した。介護職員の人員が減ることの負担から体調不良やその他のイレギュラーが発生することを想定したが、そのようなことが起こらないように職員に対する声掛けを行い続けたことと、万が一勤務に穴が開いた時もその棟所属の職員で勤務変更を行い調整することが徹底されていたので、かえって各職員の責任感を向上させることに繋がった。また、エルダー制度などを通じてお互いに助け合う関係性を育んだ。それらの表れとして平成24年度は常勤介護職員の退職者が2名（内、休職中1名）に止まった。

③ リーダー育成

各棟のリーダーの育成に主眼を置き、月2回の定例ミーティングを活用し責任を持って職務に当たるよう指導した。

④ 資格取得

施設内研修（毎月同一内容にて4回開催）介護技術基礎研修（月2回）を施設内で行い、また、外部研修にも参加することで職員のスキルアップを支援し、平成24年度介護福祉士に3名合格した。

⑤ 働きやすい職場づくり

4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）の推進を目指したが、日常的な呼びかけを行い実施するに止まった。今後は4S活動推進のための仕組みづくりを行う必要がある。

4、危機管理体制の充実

① 事故防止対策の徹底

リスクマネジメント手法（KYT：危険予知訓練）により危険予知に努め、施設内研修により職員の危機意識の向上を図った。

安全対策報告書 報告件数

平成24年度 事故：526件、ヒヤリ：601件、合計：1127件

（参考：過去2年の事故件数）

平成23年度 事故：588件、ヒヤリ：381件、合計：969件

平成22年度 事故：600件、ヒヤリ：102件、合計：702件

② 防災訓練

防災計画にそって初動訓練等実践的防災訓練を実施した。

③ 感染予防

感染性胃腸炎（ノロウイルス）、インフルエンザ等の施設内感染を予防するために看護師が中心となって感染症防止委員会を実施し、対策を実行に移した。施設内研修を年間2回行った。徹底した予防及び拡大防止対策を行った結果、職員で罹患するものが数名いたが、利用者への感染性胃腸炎、インフルエンザの感染は抑えることができた。

5、施設、設備の整備

改修工事・整備工事

- ア 平屋館居室床塗装
- イ 慧庵エアコン、かまど煙突取り付け工事
- ウ 東館会議室横倉庫工事

その他活動状況等の詳細についての事業報告は、施設に備え付けで公開しています。